

新たな「長野県次世代自動車インフラ整備ビジョン」の概要

環境政策課ゼロカーボン推進室

インフラ整備ビジョン改定の趣旨

昨年度、長野県ゼロカーボン戦略を策定し、2030 目標として「未設置区間ゼロ、電池切れゼロの充電インフラを整備」と掲げたことを受け、目指すべき充電インフラの姿を具体化し、県民・事業者と共有を図るもの。

インフラビジョンのターゲット

電気自動車は、ガソリンスタンドへ出かけて給油するガソリン車と異なり、**自宅（社用車の場合は事業所）での充電が基本**。

「充電インフラ」は、これを補完し、不特定多数の者による中長距離の移動に対し**外出先での電池切れを回避するサービス基盤として整備**する。

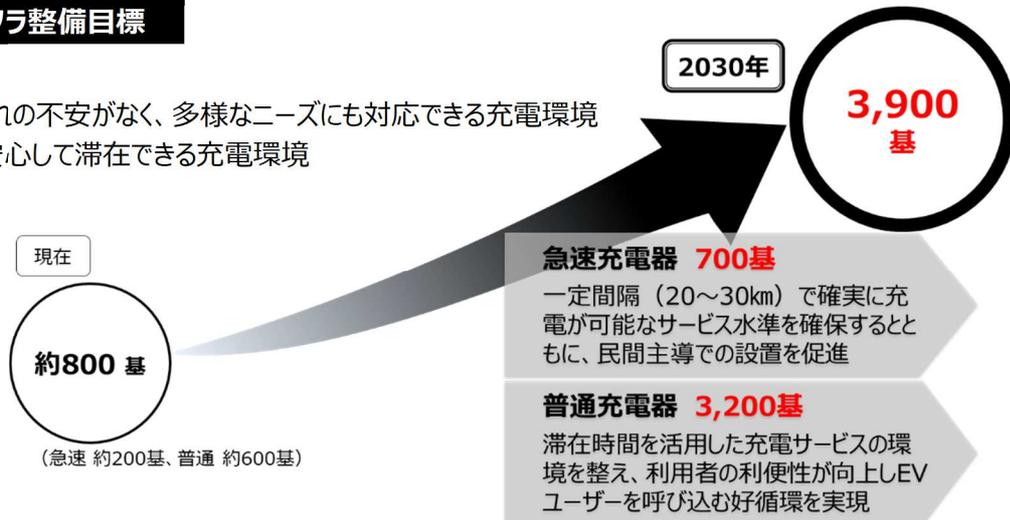
	設置箇所	種別	設置者	利用者
プライベート	戸建住宅	普通	居住者	特定
	集合住宅	普通	設置者、管理組合	特定
	事業所（勤務地）	普通	事業者	特定
パブリック	小規模小売店舗	普通	店舗 or 駐車場管理者	不特定
	大規模小売店舗	普通・急速	店舗 or 駐車場管理者	不特定
	飲食・娯楽・レジャー施設	普通	施設管理者	不特定
	宿泊施設	普通	施設管理者	不特定
	SA/PA、道の駅	急速	施設管理者	不特定
	ロードサービス	普通・急速	施設管理者	不特定
	自動車ディーラー	普通・急速	自動車ディーラー	不特定

ビジョンの
ターゲット

充電インフラ整備目標

【目指す姿】

- ・電池切れの不安がなく、多様なニーズにも対応できる充電環境
- ・誰もが安心して滞在できる充電環境



【主な設置箇所】 ※重点的に整備を進める箇所

急速充電器	交通の拠点（高速道路 SA・PA、道の駅）	86 箇所	目標 700 基
	空白地、観光地拠点	約 50 箇所	
	その他設置が期待される場所（自動車ディーラー、コンビニ、GS等）	約 2,000 箇所	
普通充電器	宿泊施設（ホテル・旅館、キャンプ場）	約 2,000 箇所	目標 3,200 基
	多数の者が利用し一定時間滞在する施設 (文化施設、公園、スポーツ施設、大規模小売店舗等)	約 4,000 箇所	